

令和元年度 離任教職員からのメッセージ



在校生・卒業生の皆さん・保護者の皆様へ

2年間という短い期間でしたが、この桃山中学校で皆さんと共に過ごすことができ、感謝の気持ちで一杯です。直接皆さんと関わることは多くありませんでしたが、職員室や廊下で会うと、元気よく挨拶をしてくれたことが何よりうれしく、印象に残っています。

皆さんはこれから新しい環境へと進んで行きますが、「一意専心」他の事に心を動かされず、一つのことに集中する気持ちを忘れずに頑張ってください。皆さんが大きく成長されることを心から祈っています。

保護者の皆様には中学校に多大なご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございました。皆様のお力添えがあり、円滑に学校運営ができたことを心より御礼申し上げます。今後とも中学校へのご支援ご協力をお願いするとともに、お子たちの健やかな成長を心から祈念しております。ありがとうございました。

教頭 今 西 邦 浩



6年間お世話になりました。

みなさんと過ごした日々は、私にとって大切な思い出です。

これからの桃山中学校のさらなる発展を願っています。

卒業生のみなさんへ

最後にみなさんの顔が見られず、本当に残念です。

この桃山中学校で、みなさんと出会えてよかったです。

楽しい毎日を本当にありがとう！

国語科 林 瑞 穂



結びにお目にかかれなくて残念ですが、このような時期ですから皆さん健康には十分に気を付けて、新たな目標に向かって元気に邁進して下さい。m(_ _)m

社会科 廣瀬 いわほ



私は、高校教員を20年間勤めた後、平成26年4月に桃山中学校に赴任、1年生の担任として、中学校教員の生活がスタートしました。今まで大切にしてきた地球儀を休憩時間に分解されるなど、経験しなかった多くの事象に遭遇し、何かにつけ「本当に、中学校の教員としてやっていけるだろうか」という不安が頭をよぎりました。「これならいける」という実感が出てきたのは、2学期の合唱コンクールで銀賞を取った前後、今から思えばクラス一人ひとりの良いところが、ようやく理解できてきた時期と重なっていたようです。クラスの子ども達とは、教室掃除も毎日、いっしょにがんばりました。掃除の時間は自分の思い思いで行動する人が多く、お陰で私にとって掃除監督だけは、気をぬく事が出来ず毎日のコミュニケーションの時間となりました。そして、月日は流れ、幸せにも2度の卒業生を出すことが出来ました。生徒のみんなも、そうであるように私自身も学年の先生方や他の教職員、保護者の皆様がたに支えながらの中学校生活でした。毎週、出させて頂いた学級通信「今に徹せよ」も第6シーズンが終了し、とうとうお別れの日（離任する日）がやってきました。

コロナ感染による離任式の中止で、直接、みんなに別れの言葉を伝えることが出来ないのは、残念でなりません。平成28年度の卒業生が「〇〇大学に合格しました！」「〇〇会社に就職が決まりました！」という報告に来てくれたり、令和元年度の卒業生から「先生のような社会科の教員を目指します。」など、多くの感謝の手紙を受け取りました。卒業式後、3組の色紙や花束（3組女子の皆さんありがとう！）も頂きました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。長くなりましたが、最後に私から、みんなに最後のメッセージです。

みんなを応援し続けた6年間は、最高の喜びでした。ここで最後の宿題です。

あきらめる理由を探さず、あきらめない強さを探すこと！
そして、みんな一人ひとりが幸せになること！

必ず宿題をやりとげて下さい。この次もこれからも笑顔であいましょう！

追伸

【保護者の皆様方へ】

あたたかい励ましのお手紙を書いて頂いた保護者の皆様がた、本当にありがとうございました。お子様のこれから先の活躍を心から祈っています。

【桃中バレー部の卒業生へ】

皆さん、元気に頑張っていますか？公式戦のくじ運が悪く、責められた日が懐かしいです。(笑)、厳しかった日々の練習に対して、転んでも転んでも、立ち上がって前を向いてくれました。試合で、がけっぷちになっても、決してあきらめないで仲間と共に全力で声も出してくれました。いろんなカップ戦や市民大会で活躍し、表彰されましたね。同じチームで同じ目標に向かって共に過ごした日々は、私にとっての宝物です。本当にありがとうございます！

社会科 岡 本 眞 刀



二年生のみなさん、進級おめでとうございます。みなさんと一年間一緒に過ごさせていただき、いろいろな楽しい思い出を残すことができました。また、いろいろな面でお世話になりありがとうございました。これからもがんばって勉強して充実した学校生活を送り、しっかりとした判断力を持った優しい人に成長してってください。また会える日を楽しみにしています。

理科 徳 永 修 一



How are you ?

I'm fine,thank you. **英語のあいさつでは、あいさつの中に Thank you. が、入ります。「自分のことを自分の言葉で表現する。」「相手を思う。」の気持ちが込められています。そんな思いを胸に過ごしていきたいですね。そんな思いを胸に学びを深められると良いですね。**

Thank you so much ! ～日々一歩いっぽ～ Yuko Kobayashi

英語科 小 林 裕 子



昨年の4月に桃山中学校に赴任しまして早、一年が経過しようとしています。私事になりますが、諸般の事情で昨年9月下旬より12月末日まで介護休職をいただきました。休職中には1組生徒の皆さんはじめ、保護者の方、教職員の皆様方にはあらゆる面でご迷惑をおかけ致しまして、この場をお借りしまして感謝申し上げます。長年勤務し、お世話になりました京都市を退職いたします。

色々とお世話になりました事を、深く感謝しております。
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

育成学級 大 角 文 治



在校生、卒業生の皆さん、保護者の皆様、桃山中学校では大変お世話になりました。

私は、この度退職ということで、長年にわたり続けさせて頂いた教員生活に一旦区切りをつけることとなりました。これまで、私に関わってくださった生徒の皆さん、保護者の皆様、ありがとうございました。

ただ、退職後も再任用という制度があり、さらに皆さんとしばらく桃山中学校で過ごせるのか…、と期待していましたが、それはかないませんでした。

2年生の皆さんとは、ここでお別れとなるのが本当に残念で悲しい思いです。修学旅行にも一緒に行きたかったし、進路についても共に悩み、考え、将来について語り合いたかったし、卒業していく皆さんの姿を見届けたかったです。2年間、本当にありがとう。これまで学んだことを活かし、しっかりと自分と向き合い、進路に向かって最高学年として残された中学校生活を有意義に過ごしてください。

1年生の皆さんとも、これまで一緒に美術の時間を過ごし、作品制作に熱心に取り組む姿をいっぱい見せてくれました。心残りではありますが、一年間だけ授業を持たせて頂いて、お別れとなります。これからも美術を通して多くのことを学び、心豊かな人になってほしいと思います。

この桃山中学校での6年間は、色々な事がありましたが、楽しい思い出がたくさんできました。名残は惜しいですが、そのことを胸に、私も新しい場所でまた、頑張っていきたいと思います。在校生、卒業生の皆さんも、夢に向かい、明るい未来に向かって希望をもって歩み続けてください。先生はいつも応援しています。

繰り返しになりますが、保護者の皆様にはいつもご理解を頂き、また支えて頂きながら、教育活動をさせて頂けたことを心から感謝いたします。本来ならば、直接お礼やご挨拶をさせて頂きたいのですが、このような形で大変申し訳ありません。お子様たちのこれからのご成長とご活躍を心より祈っております。

美術科 岡 もと女



1年間ありがとうございました。みなさんとともに、様々な活動に取り組み、その中で私自身も成長することができたと思います。アメリカの自動車王ヘンリー・フォードは「人は学ぶことをやめると老いる。20歳であろうと80歳であろうと、学び続ける者が若さを保つ。人生で偉大なことは心を常に若く保つことである。」と述べています。これからも学び続け、成長し続けていきたいと思います。お世話になりました。

英語科 太 田 眞 治



12年間桃山中学校で通級を担当させていただきました。
長いようですが「光陰矢の如し」あっという間だったようにも思います。生徒の皆さんをはじめ、保護者の方々、地域の方々に、たくさんお世話になったこと全てが私の財産です。感謝しかありません。

この12年の間に、東北大震災、大型台風、コロナウィルスといろんな試練が繰り返されています。まだまだ復興の道は険しいです。私がすべきことは何だろうとつくづく考えさせられました。桃山中学校を去るにあたり、伝えたいことがいくつかあります。

きずな
一つ目は大切なのは人と人との **絆** SNS・・・Twitter・・・メール会話ではなく、自分の声で、自分の気持ちを伝えること。相手の言葉や表情からどう思っているかを考えることが大切であることを伝えたいです。

二つ目は生きている間には、雨が降ったり、風が吹いたりしますが、いずれ
にじ
太陽が暖かい日差しを運びます。時には **虹**・・・もです。

私自身、グリム童話の「北風と太陽」の太陽のようでありたいと常に思っています。
子供たちがほっとできて、自分から動き出すのを柔らかな心で寄り添えていられたならば幸いです。

桃の夭夭（ようよう）たる

灼灼たる其の華

詩経 桃夭より

桃山中学校のさらなる飛躍を願っています。ありがとうございました。

通級指導 小 山 享 子



桃山中学校生徒のみなさんへ

皆さんの毎日は、楽しいこともたくさんあれば、苦しくてつらいこともたくさんあると思います。楽しくて仕方がないときがあれば、嵐が吹き荒れて粉々につぶれてしまいそうなときもあるでしょう。

しかし、それは、皆さんが中学生という体も心も一番成長している時代に生きているからです。

食べ物が体を作っていくように、楽しいことも苦しいことも、その一つ一つが皆さんの心を作っていきます。

「人生に無駄なことは何もない」とよく言われます。一つ一つの経験のすべてが、これからの皆さんの人生を創っていきます。

どんなことにも、目を背けることなく、一つ一つの自分の身の周りで起こることを、しゃぶりつくすように、納得するまで見つめ続け、やり通してください。

その経験が、皆さんの未来を創っていきます。

「ながらえば またこのごろやしのばれむ 憂しとみしよぞ いまは恋いしき」

末筆となりましたが、皆さんが幸せな人生を送られることを、心からお祈りしています。

育成学級 松 本 岳

